

Q 真空内の様子を観察したいのですが、PCに映像を取り込むことはできますか？

- A
- はい、可能です。真空カメラの新機種MVE-04H・MVE-05Hシリーズは、お客様のお手持ちのPCに専用のビューソフトをインストールして頂く事で、カメラ本体から延びるUSBケーブルをPCに接続し、ソフトを立ち上げるだけで「真空槽内の様子」を直接モニター可能です。
 - また付属のビューソフトを使って、予め保存先を指定して頂ければ、ワンクリックで動画撮影（録画）も可能です。

Q 新シリーズの真空カメラは従来のカメラとどこが違うの？

- A
- はい。新機種のMVE-04H・05Hシリーズが、弊社製品の従来の真空カメラと違うところを挙げると
 - ①PC上に直接つないで映像を「モニター」できる。
 - ②専用ソフトを使って保存先を選ぶことで簡単に「動画」や「静止画」の撮影が可能。
 - ③「ワンプッシュ・オートフォーカス」機能を搭載。デジカメのような手軽さです。
 - ④デジタルズーム機能搭載、「×1～16倍」迄調整可能です。
 - また従来の真空カメラはCCDカメラ搭載しておりましたが、MVE-04H・MVE-05Hシリーズは両機種ともにCMOSカメラを採用しています。
 - 以前のカメラになかった機能が新たに追加され、よりユーザー様にとって使いやすい仕様になりました。

Q 真空カメラを使う場合、ビューポートと比較してどんな利点があるの？

- A
- まず「真空槽内を観察する」という点で考えますと、一般的なビューポートと比較するとよりわかりやすいと思います。ビューポートの視野範囲は取付先の配管の内径によって大きく制限を受けます。
 - 仮にICF70とした場合、視野範囲は直径 約30mm前後となり、装置の中を広く見る場合、覗き込む形で見ることになります。
 - 真空カメラの場合、取付先のフランジポートを介して、真空槽内に直接導入するので、真空内で人の目で見えるように、大きな視野を確保することができます。
 - 言い換えますと、小さな窓の外から中の様子をのぞくビューポートに対して、実際に装置の中に入って、真空内の様子を広く見渡す様に見えるのが、真空カメラになります。

Q: 真空カメラに首振り機能はあるの？またどうやって固定するの？

- A
- 真空カメラには残念ながら首振り機能は付いていません。真空槽内に取り付ける際はカメラヘッドは自重でたわみますので、お客様側で装置内で固定して頂く必要があります。
 - MVE-04Hには固定用のタップ穴をカメラヘッドの天頂部に4カ所設けてありますので、そのネジ穴を使って保持・固定してください。

Q: 真空カメラに興味があるけど、カタログに無い情報や、実際の使い方を詳しく知りたい。

- A
- ありがとうございます。御問い合わせ頂ければ、専任の担当者がより詳しくご説明させていただきます。また訪問だけでなくお電話やMAIL等でも随時ご相談を受け付けております。「実際の映像を見てみたい」「より具体的に取付方法についてうち合わせしたい」というお客様にはデモ機もご用意しておりますので、実機を交えてより詳しいご説明も可能です。まずはお気軽にご相談ください。

株式会社 ムサシノエンジニアリング
営業部 営業課 担当 堀越
TEL : 048-756-8792
FAX : 048-756-8793
MAIL: y-horikoshi@musashino-eng.co.jp